

学生支援の方針

東京医療学院大学（以下「本学」という。）は、その理念・目的を実現するため、以下のとおり、学生支援の方針を定める。また、学生支援の適切性について定期的に点検・評価し、その結果を改善・向上に結びつけるものとする。

(1) 学修支援

- ① 学生の能力に応じた補習教育、補充教育の他、学生の自主的な学修を促進する支援を行う。
- ② 障がいのある学生、留学生など多様な学生に対する学修支援を行う。
- ③ 留年者や退学希望者といった学習の継続に困難を抱える学生への対応を行う。
- ④ 授業料の減免、大学独自の奨学金、学外の奨学金等を通じた経済的支援の充実を図る。

(2) 生活支援

- ① 心身の健康、保健衛生等に係る指導、相談等を適切に行うために、カウンセリング等の体制の整備に加え、学生の生活環境に配慮した支援を行う。
- ② 学生が快適で安全な学生生活を送れるように、学生の人権を保障し、ハラスメントの防止に十分に配慮する。

(3) 課外活動支援

部活動、ボランティア活動等の正課外の学生の活動に対して適切に支援する。

(4) 進路支援

キャリア教育を実施するとともに、キャリア支援に対する組織体制を整備し、進路選択に関する支援やガイダンスを実施する。